



I 第 45 週の発生動向 (2025/11/3~2025/11/9)

- インフルエンザについては、上北保健所管内で**注意報**が継続しています。また、東津軽+青森保健所管内、三戸+八戸市保健所管内及び西北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。すべての保健所管内で定点当たり報告数が増加傾向であるため、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 水痘については、下北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。一方、三戸+八戸市保健所管内の注意報は**解除**となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「デング熱」です。最終ページに掲載しています。

II 第 45 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

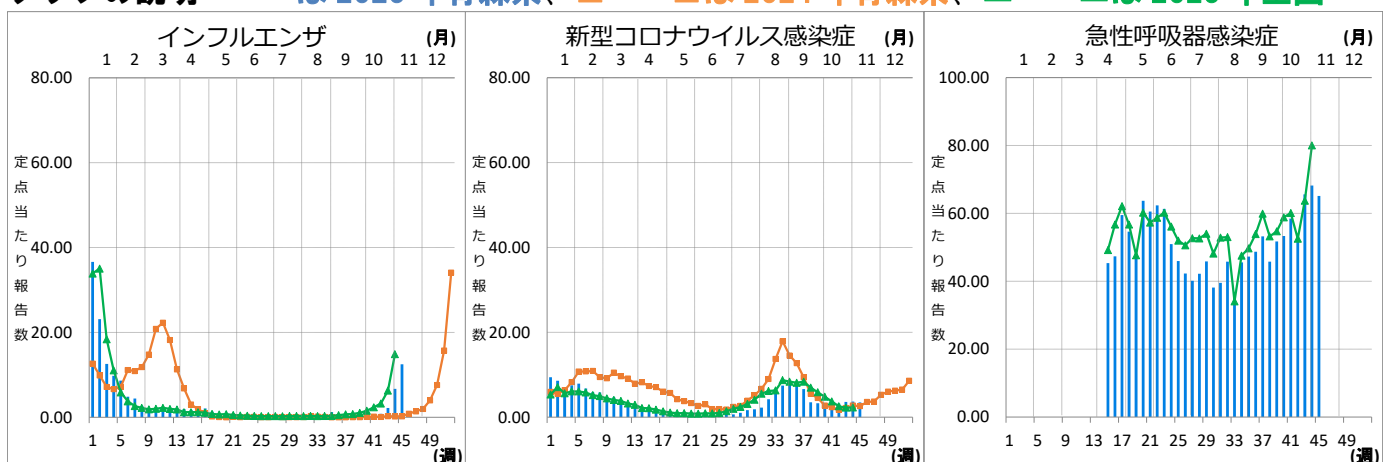
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	118	10.73	66	6.60	138	13.80	61	10.17	227	25.22	40	6.67	650	12.50	302
	新型コロナウイルス感染症	20	1.82	33	3.30	37	3.70	23	3.83	28	3.11	41	6.83	182	3.50	-10
	急性呼吸器感染症	1011	91.91	511	51.10	503	50.30	285	47.50	686	76.22	390	65.00	3386	65.12	-160
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17	7	1.17					2	0.33	3	0.75	13	0.38	3
	咽頭結膜熱			1	0.17	1	0.14	1	0.20					3	0.09	-2
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	3	0.50	5	0.83	6	0.86	2	0.40	1	0.17	3	0.75	20	0.59	-7
	感染性胃腸炎	9	1.50	9	1.50	25	3.57	6	1.20			2	0.50	51	1.50	-17
	水痘	2	0.33	1	0.17	4	0.57			2	0.33	9	2.25	18	0.53	-5
	手足口病	1	0.17							1	0.17			2	0.06	-3
	伝染性紅斑	1	0.17	1	0.17	1	0.14							3	0.09	0
	突発性発しん	1	0.17	1	0.17	2	0.29	2	0.40	1	0.17			7	0.21	3
	ヘルパンギーナ					4	0.57							4	0.12	3
	流行性耳下腺炎															-1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.11	-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00			4	4.00			2	2.00	7	1.17	-3
	無菌性髄膜炎															-1

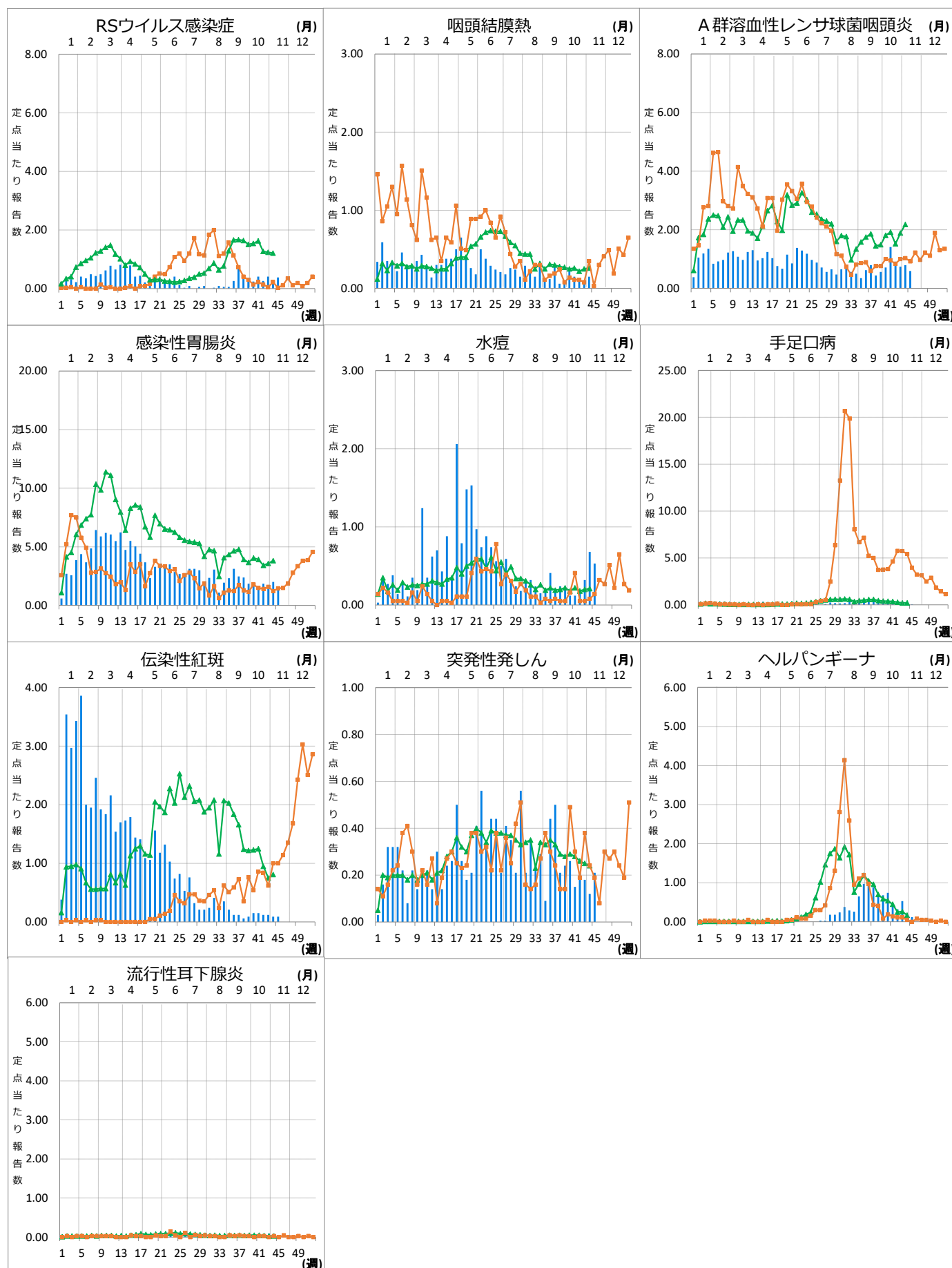
III 定点把握対象疾患週別推移(急性呼吸器感染症定点)(2025 年第 45 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国



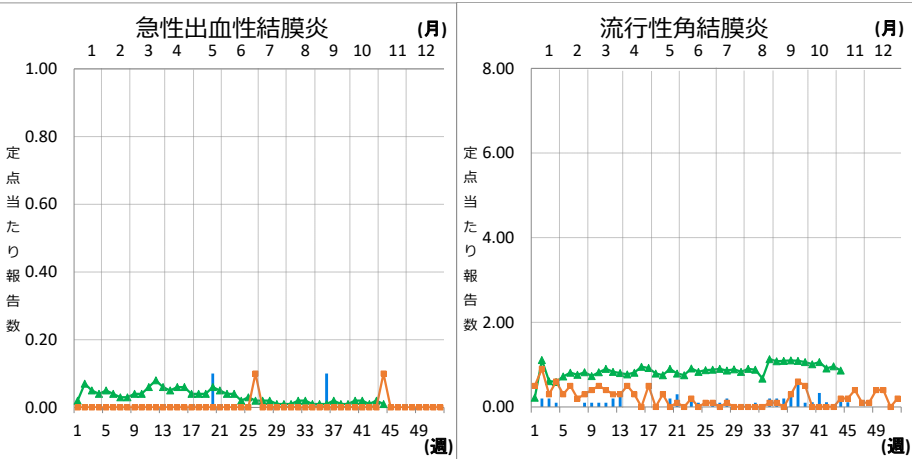
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 45 週、ただし全国は前週）

グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



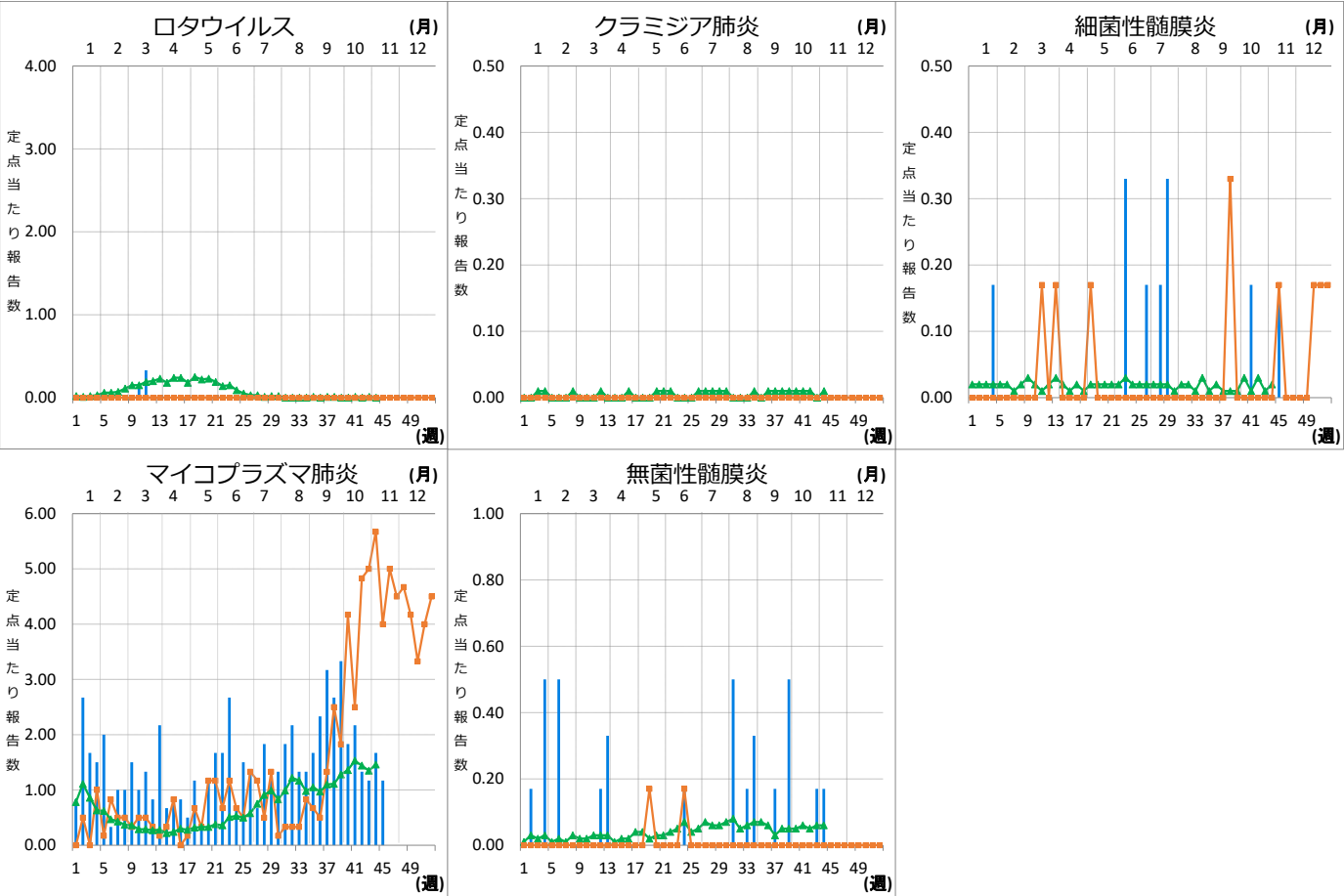
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 45 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉■は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 45 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉■は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国



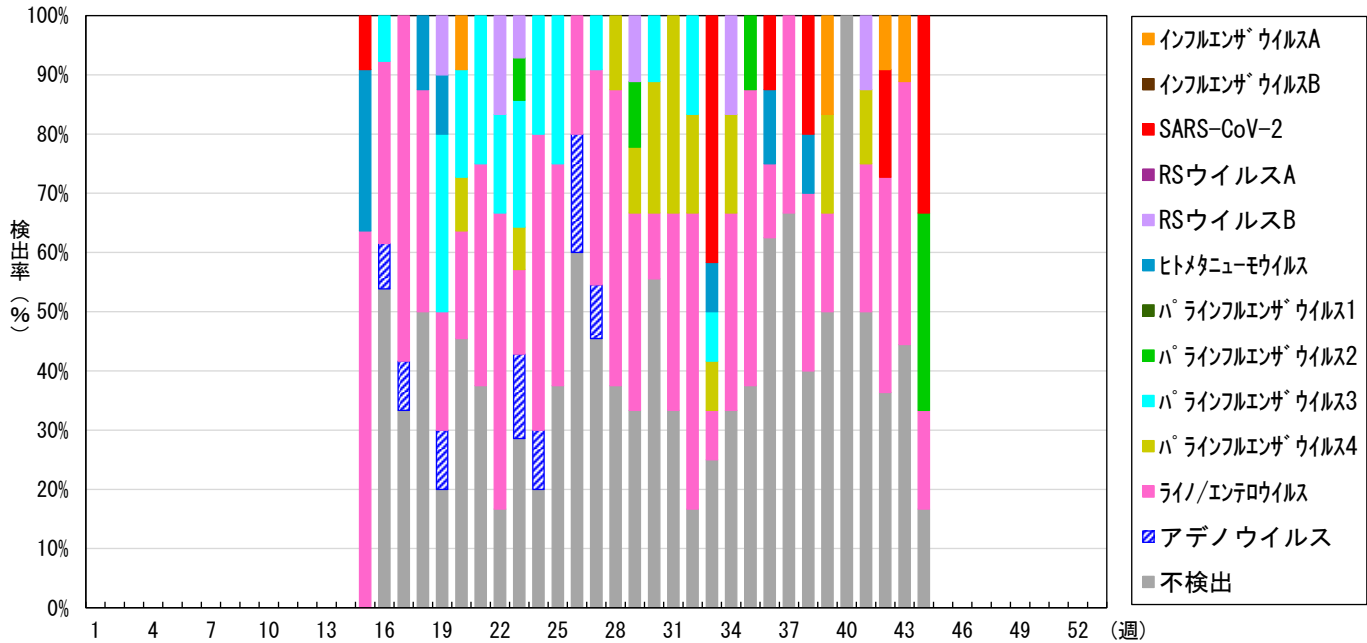
Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 38～45 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
提出検体数	10	6	6	8	11	9	5	10
インフルエンザウイルスA	0	1	0	0	1	1	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	2	0	0	0	2	0	2	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	1	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	1	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	2	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	1	0	1	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	3	1	0	2	4	4	1	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
不検出	4	3	6	4	4	4	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	10

※第44週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 45 週）

- ・結核（二類感染症）：中南 1 人（2025 年計： 99 人）
- ・レジオネラ症（四類感染症）：中南 1 人（2025 年計： 11 人）
- ・百日咳（五類感染症）：中南 1 人、八戸市 1 人（2025 年計： 746 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 42 週～2025 年第 45 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
42	結核1人 カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人 後天性免疫不全症候 群1人	カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人 百日咳2人	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 レジオネラ症1人	
43	結核1人	百日咳2人	百日咳4人	百日咳1人	百日咳1人	
44	結核1人 レジオネラ症1人 百日咳2人	梅毒1人 百日咳1人	つつが虫病2人		侵襲性肺炎球菌感染 症1人	
45		結核1人 レジオネラ症1人 百日咳1人	百日咳1人			

第 44 週に、レジオネラ症の届出が青森市保健所管内で 1 件、梅毒の届出が中南保健所管内で 1 件ありま
したので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025年第1週～第44週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	11938	3	50	3781	28	8	492	118	26	8
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	9	6	6	183	2	20	109	146	620	2
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	1	1	19	16	1	2073	51	380	207	1041
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	29	454	23	155	1170	718	33	567	68	2838
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	563	11765	144	82	79	84679	10	232		9

青森県（2025年第1週～第45週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	99	36	1	17	1	1	11	1	9	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳		
累積報告数	4	5	2	4	15	20	1	746		

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 45 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第45週	報告なし		

2025 年報告件数及び症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45週	46週	47週	48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0					14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0					235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0					35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0					676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0					7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0					88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0					1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0					10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0	0					57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0	0					1009

感染症の窓

デング熱は、デングウイルスによる感染症です。デングウイルスを保有する蚊に刺されることによって感染するため、ヒトからヒトへ直接感染する病気ではありません。主に熱帯や亜熱帯地域で流行しており、国内で報告されているデング熱の多くは海外からの輸入感染症です。流行地に渡航する際には十分な注意が必要です。

主な症状は、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹などで、通常は1週間程度で改善し、後遺症なく回復します。デングウイルスには1型から4型の4種類があり、同じ型のウイルスに再び感染しても免疫によって軽症ですみませんが、異なる型に感染すると免疫が過剰に働き重症化することがあります。重症化したものはデング出血熱またはデングショック症候群と呼ばれ、死亡することもあります。

第44週現在、日本国内でデング熱は146件の報告があり、青森県においては第41週に1件報告がありました。

デング熱には、ワクチンや特異的な治療法はなく、対症療法が中心となります。感染してからの治療よりも、蚊に刺されないための対策が重要です。地球の温暖化に伴い、デング熱を媒介する蚊が県内にも定着しつつあります。蚊が多くいる場所で活動する場合は、長袖、長ズボンなどの肌の露出が少ない服装を着用し、虫除け剤を使用しましょう。

また、海外で感染した疑いがある場合で、帰国後に症状があらわれた場合は医療機関を受診し、渡航先や渡航期間、渡航先での活動など詳しく伝えてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[デング熱に関するQ&A\(厚生労働省 HP\)](#)



デング熱

